

【事業報告】

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第49号(2015年)を刊行した。
- (2) 研究員各自のテーマに沿って経済史・経営史にかかわる研究を進めた。また、三井文庫主催の研究会の開催、外部の学会・研究会等への参加(発表)、共同研究の主催、外部機関主催共同研究への参加なども行った。
- (3) 三井越後屋の仕入・販売関係資料、三井鉱山関係資料、旧三井物産在米支店関係資料(米国国立公文書館所蔵)などの三井関係資料の調査・収集を進めた。
- (4) 資料の保存と利用のため、資料のデジタルスキニングによる複製作成を進めた。マイクロフィルム劣化対策として複製の作成を進めた。書庫内の資料保存環境整備を進めた。
- (5) 三井関係映画フィルムをデジタル動画化した。
- (6) 三井本社関係資料の追加公開を行った。
- (7) 所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進め、所蔵資料目録の一部のWEB公開を開始した。
- (8) 公的諸機関(地方自治体史編纂等)の資料調査、賛助会社等の広報活動・資料保存・社史編纂、報道関係の取材などに協力した。
- (9) 三井文庫の財団法人としての発足50周年(平成27年)記念事業(展覧会、記念出版など)を行った。
- (10) 関係会社、資料保存関係者などの三井文庫見学を受け入れた。
- (11) 資料保存関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (12) 三井文庫資料叢書「三井大坂両替店『聞書』2」について、原稿の校正を進めた。
- (13) 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金の交付(3件)を受け研究を進めた。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 特別展図録の発行で執筆の協力をした。

○特別展図録『錦絵誕生250年

フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番!写楽二番!』

(読売新聞大阪本社・あべのハルカス美術館発行)

○特別展図録『アール・ヌーヴォーの装飾磁器 ―ヨーロッパ名窯 美麗革命！―』（岐阜県現代陶芸美術館発行）

(2) 展覧会図録を作成した。

○特別展図録『蔵王権現と修験の秘宝』（三井記念美術館 8月発行）

○特別展図録『三井家伝世の至宝』（三井記念美術館11月発行）

○特別展図録『別冊 三井家伝世の至宝』（三井記念美術館11月発行）

(3) 『三井美術文化史論集 第9号』を発刊した。

(4) 重要文化財「白氏文集」2巻が、国庫金および東京都の補助金の支給を受けて、昨年度と今年度の2年間継続事業として修理がおこなわれ、今年度末に完成した。

(5) 文化財保護法第53条の規定に基づく公開承認施設として、平成26年9月17日より平成31年9月16日までの期間、文化庁より認定中。

(6) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。

(7) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。

(8) 科学研究費補助金の交付（1件）を受け研究を進めた。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

(1) 今年度は、下記の6回の展覧会を開催したが、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに合計171,550人が入館した。平成17年10月8日の開館以来の累計入館者数は1,734,063人となった。

①「特別展 デミタス コスモス ～宝石のきらめき★カップ&ソーサー～」

（前年度より引き続き開催）

（平成27年4月1日～4月5日） 入館者数 4,342人

②「三井文庫開設50周年・三井記念美術館開館10周年 記念特別展Ⅰ 三井の文化と歴史」

（前期 茶の湯の名品：平成27年4月11日～5月6日） 入館者数 12,183人

（後期 日本屈指の経営史料が語る 三井の350年：平成27年5月14日～6月10日）

入館者数 10,085人

③「特別展 錦絵誕生250年

フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番！写楽二番！」

（平成27年6月20日～8月16日） 入館者数 46,991人

④「特別展 蔵王権現と修験の秘宝」（平成27年8月29日～11月3日） 入館者数 37,887人

⑤「三井文庫開設50周年・三井記念美術館開館10周年 記念特別展Ⅱ 三井家伝世の至宝」

(平成27年11月14日～平成28年1月23日) 入館者 33,176人

⑥「三井家のおひなさま 特集展示 三井家の薩摩焼」(平成28年2月6日～3月31日)

入館者 26,886人 *会期終了日 4月3日

- (2) 各展覧会に関連したプログラムを開催したほか、小・中学校の教職員研修会、親子鑑賞会、学校への出張講座、職場体験の受け入れなど、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。
- (3) 土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」(合計3回)を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

今年度は、昨年度に引き続き茅葺屋根の葺き替え等屋根関係を中心に修復工事を行った。

「公開」に関しては、箱根町文化財探訪会について箱根町教育委員会と連携して11月26日に午前午後と2回に分けて19名ずつ計38名の見学会を実施した。

また、昨年10月に外部講師(高柳友彦一橋大学大学院講師)を招き、「近代日本における戦争と温泉地—傷病兵の動向をめぐって—」についての研究会を実施し11名が参加した。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

三井花桐ビルは、平成27年7月から空室となっていた1階フロアが、12月に入居となり、以降全フロア満室となっている。また、今年度は簡易地震計設備設置工事、中央監視盤UPS交換工事等を実施した。